

群馬県感染症発生動向調査情報 (官庁連絡会議資料 2022年7月号)

● 新型コロナウイルス感染症 (2022年7月5日 9:00現在 暫定値)

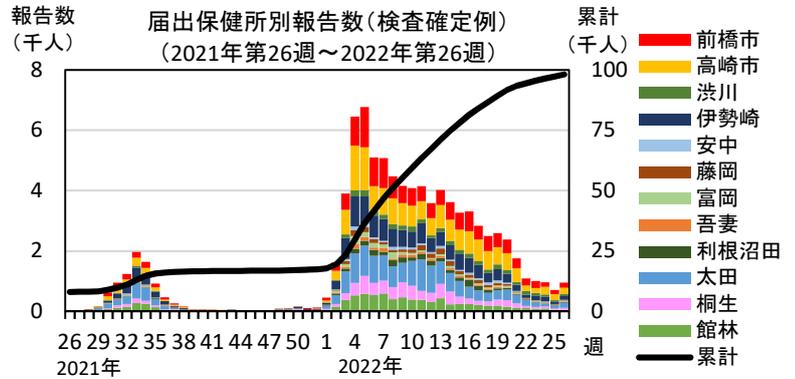
※群馬県のデータベースをもとに検査確定例のみ集計しています。HER-SYSデータを確認後、修正することがあります。

【2022年第26週 (～7月3日まで)】

2022年第26週の新型コロナウイルス感染症(検査確定例)の報告は945例で、第25週(703例)から増加しました。調査開始(2020年)以降の累計報告数は98,156例です。

【6月】

- ◆ 報告数は3,847名で、5月の報告数9,839名から減少しました。届出保健所別では、高崎市が最も多く840名(22%)、次いで前橋市768名(20%)、太田549名(14%)、伊勢崎512名(13%)でした。



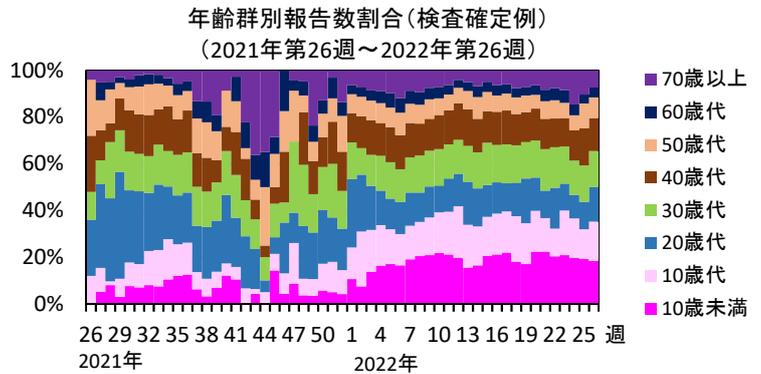
《参考：患者発生状況 (7月1日公表)》

県内患者発生数※ : 98,382名

死亡者数 : 322名

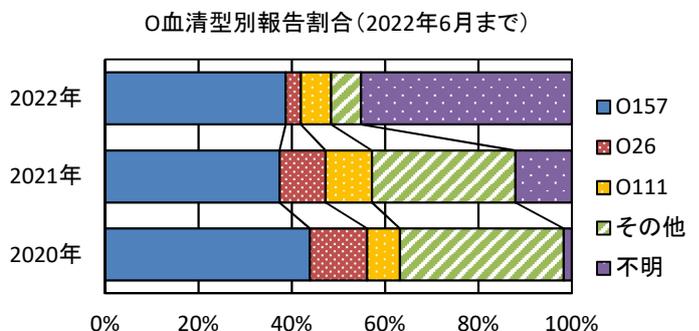
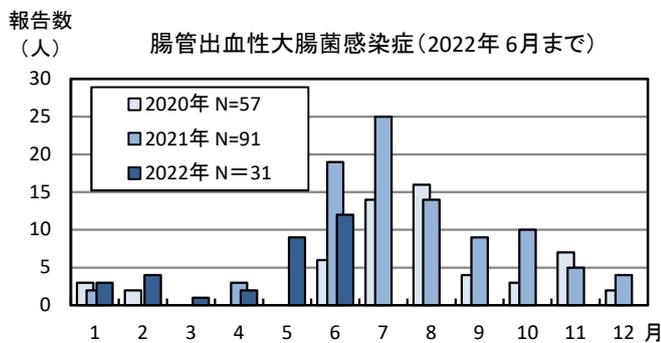
国内患者発生数 (感染者：厚労省発表)
9,329,520名

※令和4年1月24日厚労省通知による疑似症患者を含む



● 腸管出血性大腸菌感染症 (全数報告疾患)

- ◆ 本年は5月から報告が増加しています。
- ◆ 腹痛・下痢・血便等の症状がある患者に対しては、抗菌薬投与の前に便培養検査の実施をお願いします。
- ◆ 大腸菌でペロ毒素検査陽性であれば、血清型によらず届出対象になります。



※2022年は届出時の血清型不明の場合、その後の検査で判明する場合があります

*この情報に関するお問い合わせ先：群馬県感染制御センター (群馬県衛生環境研究所)
TEL: 027-232-4881 E-mail: kansenseigyoc@pref.gunma.lg.jp

●新型コロナウイルス SARS-CoV-2 ゲノム解析について(Vol.21)

新型コロナウイルスゲノム解析結果(2022年第24週(6月13日～19日)まで)

デルタ株が2021年第19週(5月10日～16日)に初めて検出され、第29週(7月19日～25日)以降、AY.29が流行となりました。県内では、第48週(11月29日～12月5日)以降、デルタ株の再流行がありましたが、オミクロン株が第50週(12月13日～19日)に初めて検出され、2022年第1週(1月3日～9日)以降、BA.1が主な流行となりました。

第2週(1月10日～16日)に渡航歴のある患者からBA.2も検出されましたが、その後の拡大はみられていませんでした。2022年第9週(2月28日～3月6日)以降、BA.2の検出が増加し、現在はほとんどBA.2となっており、新たな流行株の探知のためにも引き続きゲノム解析が重要と思われます。

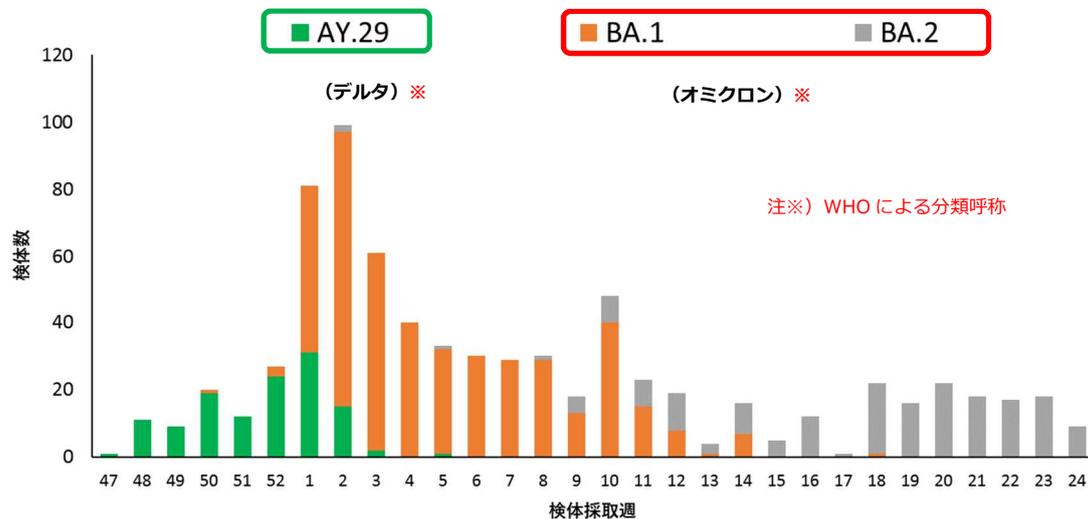


図1 新型コロナウイルス分子系統の時系列解析(検体数)【群馬県衛生環境研究所実施分】

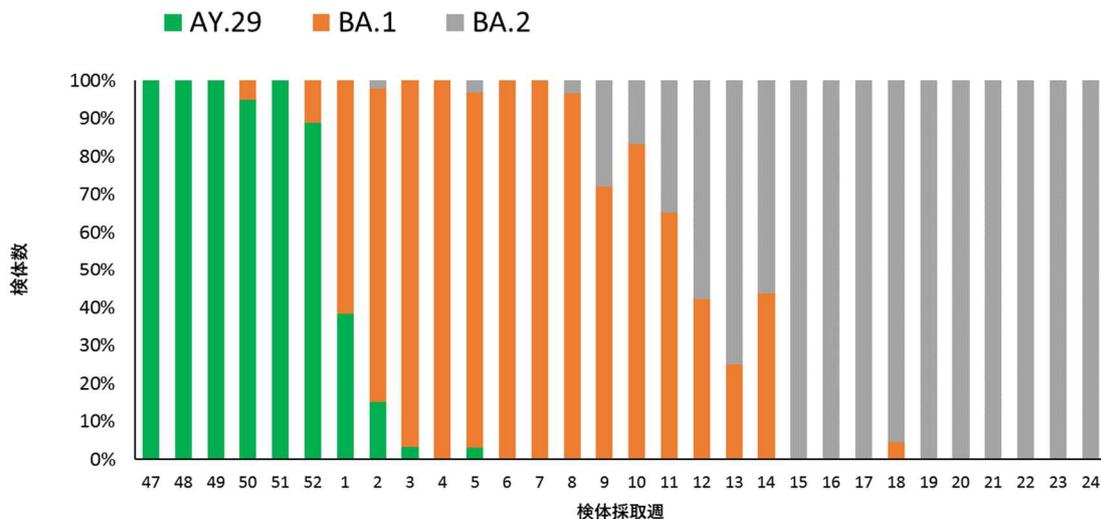


図2 新型コロナウイルス分子系統の時系列解析(割合)【群馬県衛生環境研究所実施分】